学校法人 浪越学園
日本指圧専門学校
浪越学園だより
JAPAN SHIATSU COLLEGE NEWSLETTER
2016 VOL.14 July

2016浪越指圧セミナー in日本指圧専門学校

2016年10月31日から2日間、スペイン、イタリア、スイス、アルゼンチン、ポルトガル、メキシコから通訳を含めると総勢80名の指圧師が指圧講習を受講しに来校しました。受講者は、本校卒業生小野田茂先生（25期）が代表を務める「浪越指圧ヨーロッパ」に加入されている方々です。

浪越指圧ヨーロッパという団体は、2005年に「世界に指圧を」をスローガンに、浪越指圧ヨーロッパを立ち上げ、スペイン、イタリア、スイス、オランダ、ポルトガルを中心に浪越指圧の各学校、各協会の同志が参加し、世界各国で浪越指圧の普及を行っています。

講習は3か所の実技室に分かれ、午前9時から12時15分迄は在校生と一緒に指圧交流を、午後2時から4時30分迄は本校専任教員が特別授業を行いました。

在校生との交流では、昼間部1年生から3年生全ての学生が参加し、お互いに基本指圧を行い終了後に感想を述べ合いました。海外の受講者は在校生の圧の入れ方や、圧点の正確な取り方に感心していました。午後の特別授業では各教員が「頸部の指圧」「肩関節の評価と治療」「腰部の運動操作と指圧」「横臥位の応用操作」など各テーマで授業を行いました。海外の受講者は熱心に講義に耳を傾け、質問も多く出て有意義な時間を過ごされていました。

歓迎食事会では講習者全員が参加し楽しい一時を過ごしました。宴の席で浪越学園理事長浪越和民より小野田茂先生の長年に亘る海外での功績を称え感謝状が贈られました。

今回各国の講習者80名が来校し講習が行われたこと、また、今年7月にはメキシコで第17回「指圧国際大会」も開かれ、創設者 浪越徳治郎の志「海外での指圧普及」がまた一歩叶えられました。

事務長　浪越雄二

第17回 指圧国際大会メキシコ大会

情熱のラテンアメリカで初の指圧国際大会がついに実現！

1979年の東京で行われた第１回大会から、北米、ヨーロッパ、アジアなどで行われてきた指圧界では伝統的かつ最高権威である国際大会が、今回は平成28年７月30～31日の両日、メキシコシティにて開催しました。大会には、日本をはじめ、メキシコ、カナダ、ホンジュラス、キューバ、ドミニカ、アルゼンチン、スペイン、ベルギー、フィンランドから約200名の参加者があり、ラテンアメリカに相応しい国際色豊かな大会となりました。

現地での実践風景。参加者である各分野の専門家に本来の正しい指圧が伝わった

各分野からの専門家の参加が多く指圧活躍の場の広がりを実感！

メキシコでの指圧普及の形態は、海外の他の国と異なり、2008年に設立した浪越指圧メキシコ協会が、メキシコ文部省に働きかけ「母校で学んだ指圧をメキシコ公式の指圧とする」ことから始まりました。その結果、メキシコに浸透した母校の指圧はメキシコ人の心を動かし、現在では複数の大学、理学療法団体、代替医療団体、マッサージ学校、公立病院と連携して普及と実践の体制を構築できました。このことにより、医師、指圧師、マッサージ師、理学療法士など各分野の専門家が参加しました。

大会趣旨は日本から正しい指圧を発信！

海外では、指圧が正しく知られていないのが現状です。特にラテンアメリカは、陽気な人懐っこい性格な人たちが多いため、外国からのニセモノの指圧が多く流入し、それを信じてしまう人たちが多くいました。ここメキシコも、メキシコ文部省が標準的な指圧のガイドラインを作るまで、怪しい指圧

が多くありました。今回ラテンアメリカをはじめとした他国から参加される方々に、本来の指圧がどういうものかを知っていただくためには、日本からの情報発信が最も重要と考えました。それは、メキシコに渡ってから常に感じている「浪越徳治郎先生により体系化された指圧は、日本では海外とは異なり国家資格を要するため、資格に相応した責任がある。また、日本の指圧市場は成熟しており、確かな技術のみが受け入れられる状況であるため、指圧先進国である日本の技術と情報が海外には必要」という強い想いから、大会趣旨を決めました。

７名の先生方が専門性のあるテーマを講演！

指圧の世界最高機関である日本指圧専門学校から浪越雄二先生、黒沢純一先生、石塚洋之先生、日本指圧協会からベテランの稲場哲夫先生、日本の第一線で活躍する卒業生の中から高木光洋先生（48期）、公平尚行先生（48期）らに加え、欧米の指圧界を代表してカナダの池永清先生（28期）により、指圧理論、指圧の生理学的解説がなされ、スポーツ、治療、美容分野の専門性に富んだそれぞれの講演は、参加者には「目から鱗」となり、本来の正しい指圧が伝わった瞬間となりました。

指圧師の心が一つになった瞬間！

私は、光栄にも海外で活躍する卒業生の中では、普及活動開始から過去最短の８年で、大会委員長の大役を務めさせていただきました。指圧国際大会は海外での影響力が強く、また指圧を正しく理解してもらう絶好のチャンスであることから、失敗できないという大きなプレッシャーがありました。しかし、浪越理事長を始めとする日本指圧専門学校からの多大なるご支援を始め、講演を快く引き受けていただけた先生方、先輩後輩からの励まし、また海を渡って応援に来て下さいました宮脇利博先生（22期）、石塚怜子先生（37期）、瀧本光代先生（50期）のみなさんの大会を成功させようという心に支えられ、大会を成功させることができました。

最後に、大会Ｔシャツにもプリントさせていただきましたが、浪越指圧メキシコ協会のスローガンである「メキシコの指圧は日本の指圧」「メキシコの指圧は基本に忠実」を大切にし、指圧の基礎研究などを踏まえ、さらなるメキシコの指圧が発展するために貢献していきます。関係された方々に、心から御礼申し上げます。

（浪越指圧メキシコ協会
会長　浅田秀男［48期］）

日大トレーナー活動

平成27年より日本大学陸上競技部でのトレーナー活動の始まりを機に、今年４月浪越スポーツ指圧トレーナー部の活動を再開いたしました。今年度は日本大学の監督・コーチ・選手からの信頼も厚くなり、多くのトレーナー活動をしてまいりました。下の表に今年のトレーナー帯同の活動をまとめます。

関東近圏で行われた大会は、授業に差障りの無い範囲でトレーナー部の学生の参加を促し、トレーナー活動の場を体験させました。他にも、４月より日本大学陸上競技部の学生寮にほぼ毎週伺い選手の指圧によるボディケアを行っております。学校ホームページにも記事を掲載しておりますが、積極的な活動の甲斐もあり、選手たちに大きな怪我がなく、全日本インカレでは日本大学がトラック部門・フィールド部門で優勝し、全部門でも好成績を納めて5連覇となる総合優勝を果たしました。

８月の全日本インカレを終えてシーズンオフに入った折、陸上部総監督である小山裕三先生が浪越和民理事長へご挨拶のため来校してくださいました。10月18日には日本大学理事長田中英壽先生より、日本大学スポーツ科学部での指圧ルームの設置の依頼を頂き大学と本校の提携も実現しました。今後更なる活動の広がりが期待されます。

世間では無資格者の存在もあり、正しい指圧・マッサージの認識はいまだなされていないように感じます。日本大学陸上競技部を皮切りにすべてのスポーツ界に指圧・マッサージの正しい認識とともに、国家資格をもった指圧師にトレーナーの知識・技術力を広く認識させていきたいと考えております。

（浪越スポーツ指圧トレーナー部
顧問　石塚洋之）

活動内容

3月	沖縄合宿
4月	織田幹雄記念国際陸上競技大会
5月	成田高校合宿（日本大学投てき合宿）
5月	関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）
6月	日本陸上競技選手権大会
7月	成田高校合宿（日本大学投てき合宿）
8月	日本学生陸上競技対校選手権大会（全日本インカレ）

第12回ゆびまつり開催

平成28年７月16日土曜日、前日までの雨模様とは一転して、まずまずのお天気の中、『第12回ゆびまつり』が開催されました。

今年は毎年恒例であった女装コンテストを行わないということが決まり、戸惑いの声が多数出る中準備が始まりました。しかし、イベント担当のクラスがクイズ大会などで例年にも負けないくらいに盛り上げてくれました。

初の試みとしては、喫茶店のチョコレートフォンデュやイベントのスタンプラリーなどがあり、自分自身とても新鮮な気持ちで参加できました。その他の様々なブースも、外部からのお客さんが少なかったにも拘わらずかなり賑わっていたのではないでしょうか。

今回、自分はチャリティー指圧の担当で整理券の配布をしました。時間内に配り終えられるか心配でしたが、皆様に声掛けの手伝いをしていただいたこともあり、無事に配り終えることができました。チャリティーブースでは、外部の方を施術いたしました。臨床実習では体験済みであるものの、人の体を施術する機会がまだ少ないので、今の自分にとってとても貴重な経験となりました。

私たち３年生は最後の学園祭となりましたが、来年、再来年とまた盛り上がるのを楽しみにしています。

（学園祭委員長　3B上田寛貴）

合同会社説明会

平成28年7月23日（土）に、合同会社説明会が開催されました。

当日は12社が来校し、仕事内容、雇用形態などの説明をしてくださいました。卒業年度の3年生だけでなく、1、2年生も積極的に話を聞いておりました。

3年生は第1回模擬試験が終わってほっとした時期でしたが、日々勉強に追われると、卒業後のことをつい忘れてしまうこともあると思います。現在ご活躍されている方の話を聞くことで、改めて目標を思い出した人、見出した人もいるのではないでしょうか。

最後になりますが、お忙しい中ご参加いただいた事業者の方々に御礼を申し上げます。　（教員　田中智子）

オープンキャンパス 学校説明会への ご協力有難うございます！

平成28年度のオープンキャンパス・学校説明会もいつの間にか今回で９回行っております。学生の皆さんにはいつも協力頂きまして有難うございます。オープンキャンパスを始めて３年目です。皆さんもオープンキャンパスに参加して入学を決めた方もいらっしゃるでしょう。今度はぜひ受け入れる側で参加してみて下さい。参加者の皆さんは学生さんとお話しできたことを喜んでくれます。学生さんにとっては、初心を思い出す機会になっているようです。自分が入学したときのこと、同じことを質問したっけな～とか…。90分のお手伝いです。短い時間ですが、なぜか終わるとありがとうと言う気持ちになるのです。ホッと一息つきつつ楽しかったなと。指圧に興味がある方と指圧を勉強している皆さんのコラボはやはり盛り上がります。皆さんの後輩になる方々です。入学後、卒業後に思わぬ繋がりができるかもしれませんね。いつもアリガトウございます！

（教員　渡邉和雄）

指圧道直伝会

at Canadian College of Shiatsu Therapy

指圧道直伝会は、カナダ・バンクーバーのプロフェッショナル指圧師のための研修会です。40名くらいの会員が在職し、月に一度くらい研修を行っています。会員は研修ごとに参加可能な方々が集まって来ます。平成28年9月の研修には日本指圧専門学校から渡辺が参加して参りました。

今回の参加者は15名。皆さんバンクーバーで指圧を仕事にしている方です。本校卒業生も活躍しています。英会話クラブ出身の名倉先生や小泉先生も来てくれました。指圧研究会の論文を横断的に見てもらったあと、指圧実技を行います。皆さんに号令で伏臥位や下肢の指圧を練習してもらいました。卒業生達を見ると、指圧をして生活をしている自信が溢れていました。指圧を仕事にして生活できる環境はとても素晴らしく、その環境を長い時間をかけて育ててきてくれた28期生の池永清先生は指圧師としてだけでなく、ビジネスマンとしても優秀な方であると今更ながら実感したのでした。

ちなみに過去には私が担当している指圧研究会や英会話クラブから何名もバンクーバーに渡っていますが、一度も相談を受けたことはありません(笑)。

ワーキングホリデーの制度を利用してバンクーバーを訪れようと考えている学生さんもいるでしょう。親元を離れ、バンクーバーで指圧治療をして一人で生活をしていくという経験は、長い長い人生の中でかけがえのない時間になるのではないでしょうか。

(教員　渡邉和雄)

バンクーバー ワーキングホリデー 説明会

今回で9年目となるバンクーバーワーキングホリデーの説明会のため、28期池永清先生が来校されました。

毎年この時期に開催される説明会には、卒業生の参加も見られるようになりました。

現在、現地で活躍する卒業生が制作した動画では、仕事の様子や充実したプライベートの日々を感じることができました。

池永清先生のお話を聞いているうちに、不安に思っていたことも徐々に解消され、参加者の表情は笑顔になっていきました。

興味のある方は一度、学校窓口の教務・黒沢課長に、お話だけでもどうぞ。

東洋療法学校協会主催学術大会

平成28 年10 月12 日(水) 北区王子にある「北とぴあ」にて、東洋療法学校協会主催第38回学術大会が開催されました。

今年度は本校から「側頸部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果」というテーマで、ポスター発表でした。

質疑応答の時間では他校の方から多数の質問を受けました。それに対して学生達はしっかりと対応しておりました。また、今回の実施地が東京であったので、在校生も発表を見に行くことができ、たくさんの応援の言葉をもらい、発表に挑むことができました

今年度も「医道の日本賞」を受賞することができました！　これで2年連続3回目の受賞となります。本研究会では、数年継続しておりました瞳孔計を用いた研究を発表のテーマといたしました。浪越指圧の効果を検証するため、1つ1つ積み重ねた結果が受賞に繋がったと感じました。

協力していただいた被験者の皆様、理事長先生、校長先生に心よりお礼申し上げます。そして、この1年間取り組んできた指圧研究会の皆さん、お疲れさまでした!!

(指圧研究会顧問　田中智子)

ボランティア指圧

お茶の水女子大学

11月12日（土）11月13日（日）の2日間、お茶の水女子大学学園祭（徽音祭）に7回目となる指圧ブースを出展してまいりました。歴史のあるお茶の水女子大学の本館（徽音堂）で座位指圧のブースを出展するところまでは例年通りでしたが、本年は通常の座位指圧に加え、下肢の指圧（膝から下）を行ったこと、また、卒業生にも参加いただきました。

患者さんを忙しく治療する毎日を送っている卒業生がはたしてボランティアに来てくれるだろうか…？と心配しておりましたが、当日は20名もの卒業生が集まってくれました。

徽音祭には2日間で1万人以上の方が来場されます。その中には車椅子の方や身体の不自由なお年寄りの姿も見られ、若干心配しましたが、卒業生が見事な対応をしてくれました。特に在宅医療に従事している卒業生のこの方への応対はとても精練されていて見事というほかありませんでした。そのような卒業生の姿を見られたことは学生さんにとって生きた臨床の勉強になったと思います。

下肢の指圧はもともと老人保健施設などで車椅子の方を指圧する時などに用いますが、主訴をお伺いするとむくみから起こる下肢の辛さが多く、通常の座位指圧よりも下肢の指圧がとても喜ばれておりました。一般の方が来場する学園祭で足の指圧の需要があるだろうか？という不安な思いがありましたが、多くの方が足の指圧を受けに来てくれました。いつでも、どこでもできるという指圧の良さが、徽音祭の場でも発揮されました。

両日ともに指圧を受ける人の列が途切れることはなく初日に294名、2日目は427名、合計721名という大勢の方に指圧を体験していただくことができました。学園祭ということもあり小学生の女の子からご近所にお住まいのお年寄りまで幅広い方に指圧を経験していただき、多くの方から笑顔で「肩が軽くなった」「とても気持ち良かったです」と嬉しい感想を頂くことができました。

卒業生からも「ここまで集中して短時間にたくさんの人の身体に触れる機会は少ないのでとても良い経験になりました」という感想を聞きました。在校生だけでなく卒業生にとっても良い経験の場となったようです。卒業生と在校生の交流も見られ、この場の出会いがまた新しいことにつながっていきそうな嬉しい予感を感じた徽音祭でした。

（教員　高橋雄輔）

能登にて

58期昼間部学生5名、教員3名の計8名で、石川県鳳珠郡能登町へ指圧ボランティアに行ってきました。日程は平成28年9月25日（日）から同27日（火）の3日間。初日は、能登の新保町会館にて地元の高齢者の方々を中心に計18名の方に施術しました。初めて指圧を受けた方が多く、その効果に皆様驚いておられました。「こんなに頚と肩が楽になったのは初めてです」、「来年もよろしくお願いします」、「卒業後は能登で開業してください」などの感想をいただきました。2日目は、石川県立能登高校の軟式テニス部員22名、顧問の先生1名に、藤波運動公園内の県民テニスコートで指圧を行いました。指圧を受けた全員が、その効果にとても感動され、感謝のメッセージがボランティアに参加した本校学生のSNSへ多数投稿されました。3日目は千枚田など能登を巡り、帰路につきました。参加した学生全員が、とても良い経験になったと喜んでいます。これからも地方での指圧ボランティアを継続していきたいです。

（教員　本多剛）

礫川マラソン

平成28年11月27日（日）、文京区青少年対策礫川地区委員会主催、第42回礫川マラソンが開催されました。この催しには、本校も礫川地域に根づいた学校として協賛し、毎年、化粧室の提供などをしております。また、それに伴い本校舎第３実技室にてランナーの方々に指圧を受けていただくボランティア指圧も併せて行っております。

このボランティア指圧は、本校の学生にとっても校外の方に対して指圧を施せる貴重な経験を積める機会であり、今年は昼間部・夜間部合せて、３年生と２年生から６名ずつ、１年生から２名、卒業生から１名の合計15名が参加しました。昨年に引き続き今年も、スポーツボランティアの分野で多く行われているベッドでの施術に慣れてもらいたいという観点から、ベッドを用いた指圧に取り組みました。施術時間を15～20分程度とし、各自が問診・施術に至るまで全て行いました。

慣れないベッドでの指圧に最初は戸惑っていましたが、日頃より基本指圧を練習している成果を発揮し、指圧を受けた44名の方々全員が満足してお帰りいただけました。また、指圧を受ける前と後にアンケートを行い、術前と術後の比較をする資料も収集しました。こちらの集計も楽しみです。来年も行う予定ですので、学生の皆様の参加をお待ちしております！

最後に、今回、指圧を受けていただいた方々、並びにボランティアに参加してくれた学生の皆様に心より感謝申し上げます。

（教員　本多剛）

ホノルルマラソン指圧ボランティア記念盾受領

日本でもお馴染みのハワイオアフ島で開催される『ホノルルマラソン』。完走者にボランティア指圧を行っているのはご存知でしょうか？

愛泉指圧学校校長・愛泉治療道院院長・因泥文彦先生（第15期）の呼びかけにより毎年同志が集まりホノルルマラソンの名物になっています。走った直後に指圧を受けると、疲労した体の回復が早くなり、旅への影響が少なくなるため、ハワイを満喫できると大変喜ばれています。当校も長年協賛させていただいている功績に対し、アメリカ指圧協会より記念の盾を受領しました。

永田経理部長退職

平成28年９月30日付で永田芳彦経理部長が退職いたしました。永きに亘り本学園の発展のため、尽力いただきましたことに心より感謝を申し上げます。後任には岡村文夫経理部長兼事務局部長が就任いたしました。

●平成29年度 入試日程（平成29年4月入学）

試験区分	出　願　期　間	入学選考日
社会人入試［第一次募集］	平成28年 9月　1日（木）～ 9月　8日（木）	平成28年　9月11日（日）
推 薦 入 試	平成28年10月　3日（月）～10月13日（木）	平成28年10月16日（日）
一 般 入 試［第一次募集］	平成28年11月　1日（火）～11月10日（木）	平成28年11月13日（日）
社会人入試［第二次募集］	平成28年11月21日（月）～12月　1日（木）	平成28年12月　4日（日）
一 般 入 試［第二次募集］	平成29年 1月10日（火）～ 1月19日（木）	平成29年　1月22日（日）

終　了

JAPAN SHIATSU COLLEGE

浪越学園だより　第 14 号
発行日：2016 年 12 月 15 日
発行人：理事長 浪越和民
発　行：学校法人浪越学園 日本指圧専門学校
〒112-0002　東京都文京区小石川２丁目 12 番４号
TEL.03-3813-7354 ／ FAX.03-3812-5003
http://www.shiatsu.ac.jp/

編集・制作：国際医学出版株式会社